

蕨 広報WARABI 6

2014/平成26年
わらび・757

- 平成26年6月1日発行／発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 5月1日現在人口：72,295人 前月比 +158人
男 36,665人 女 35,630人
世帯数：35,968
人口密度：14,175人/km²



輝く笑顔と歯をいつまでも たいせつなのは歯磨き習慣

きらきらとした子どもたちの笑顔と
白い歯。秘訣の一つは市内全小学校で
給食後に行われる歯磨きです。ここ東
小学校でもみんな丁寧に歯を磨いてい
ました。今月4日～10日は「歯と口の
健康週間」です。すてきな笑顔の源、
歯の健康を考えてみてはいかがでしょうか。

～今月の特集～

- 河鍋晩斎記念美術館
天才絵師の作品 蕨にあり

わ
WARABI



▲▶ 常時40～50点の作品を展示しています(河鍋暁斎記念美術館)



暁斎筆 蟹の綱渡り(部分)
制作年不詳



特集 河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

国内外に名を響かせた暁斎

幕末から明治にかけての激動の時代、江戸・東京を拠点に人気画家として活躍した河鍋暁斎。神仏・仙人を描いた神仙画や美人画など、正統派の絵から、風刺画や戯画、妖怪画などユーモラスな絵まで、あらゆるジャンルの作品を描き、天才絵師と称賛されました。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎

天保2年(1831)
～明治22年(1889)

Kyosai
Kawanabe

現在の茨城県古河市で生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勸業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。

これは7歳で浮世絵師・歌川国芳に入門し、その後、狩野派へ移り、修業を積んだ経験に加え、さまざまな流派や画法を学んだ暁斎だからこそ得られた名声です。

人物や動物をいきいきと躍動的に描くことのできる高い筆力や写生力、また、妖怪を愛らしく表現することのできる豊かで奇抜な発想力を兼ね備えていた暁斎は、国内だけでなく海外でも評判となり、晩年には、外国人に「日本最大の画家」とたたえられるほどでした。

戦後しばらくは、日本の美術史や展覧会から、その名が聞かれなくなりしましたが、暁斎の曾孫・河鍋



暁斎筆 鳥獣戯画
制作年不詳

▶ ほほえむ美人の表情から、暁斎特有の近代的な活力を感じることができる作品

◀ 踊る動物や妖怪たちを描いた有名な作品。不気味な音楽が聴こえてくるようです

※いずれも常時展示はしていません



暁斎筆 文読む美人
明治21年(1888)頃

市民の皆さんは河鍋暁斎という画家をご存じですか。天才絵師と称賛され、幕末から明治にかけて活躍した人物です。その暁斎の作品を多数所蔵する美術館が私たちのまち、蔵にあります。河鍋暁斎記念美術館(南町4-36-4)です。今月の特集は暁斎と同館についてご紹介します。



Interview

河鍋 楠美 館長
Kusumi Kawanabe

83歳。市内在住。暁斎の研究や展示を通じて、美術館の発展に尽力。昭和56年、埼玉県文化ともしび賞、平成元年に蕨市けやき文化賞を受賞。東京大学医学博士で、蕨眼科院長

ここでは暁斎の曾孫に当たる河鍋楠美館長に、暁斎や美術館にまつわるエピソードについてお話をいただきました。

暁 斎という画家のことを、私が幼い頃は多くの人がご存じでした。しかし、徐々にその名が消えていくように。そうしたなか、作品を皆さんに見ていただきたい、知っていただきたいという思いで、戦時中から一家で移り住み、愛着のある南町に美術館を設立しました。当初は知名度が低く苦労しましたが、でも、地道な活動が報われ、最近ではマスコミに取り上げら

バラエティに富んだ暁斎の魅力を 多くの人に知っていただきたい



暁斎筆 毘沙門天之図
嘉永元年(1848)

▶ 暁斎、17歳のときの作品。この頃、駿河台狩野塾に属し、寝る間も惜しんで学習に励んでいたそうです ※常時展示はしていません

私 自身、暁斎の魅力に取りつかれた一人です。作品はもちろん、文明開化が進むなか、日本の美意識を全うした信念や、一方でさまざまな画法を取り入れる旺盛な探究心を持ち続けた人柄を尊敬しています。実は医師になったのは暁斎の作品がきっかけなんです。美大に進むか悩んでいた頃、17歳の暁斎が描いた『毘沙門天之図』（右作品）を見て、画家として超えられないと、その道を断念しました。人生の転機となった、思い出深い作品ですね。

今 後も暁斎についての研究を重ね、その功績を後世に伝えていくとともに、美術館についても多くの人が楽しめるような展覧会を開いていきます。ご来館をお待ちしています。

楠美さん（上囲み）らの尽力もあり、平成以降はイギリス・大英博物館をはじめ、京都国立博物館や三井記念美術館で展覧会が開かれるなど、再び注目を集めています。

多彩な作品そろえる美術館

暁斎の作品をいつでも見ることができなのが、南町にある河鍋暁斎記念美術館です。昭和52年、河鍋楠美さんが自宅を改装し、設立した同館。絵画や版画などの完成品に加え、河鍋家に伝わる下絵（下書き）を多数所蔵しています。

3200点以上の作品を有する同館では、1、2か月ごとにテーマを替えた展覧会が開かれ、仏画から、戯画や幽霊画などまで、多彩な作品を楽しめるのが特徴です。なお、展示中の幽霊画や妖怪画は暁斎の人気のある題材の一つです。皆さんも同館に足を運び、さまざまな魅力を持つ暁斎の世界を味わってみてはいかがでしょうか。

公益財団法人 河鍋暁斎記念美術館

開館＝午前10時～午後4時
休館＝木曜日、毎月26日～末日
ところ＝南町4-36-4
問い合わせ＝☎441・9780
URL＝<http://kyosai-museum.jp/>



河鍋暁斎記念美術館 展覧会スケジュール

入館料／一般＝540円
大学生～中学生＝430円 小学生以下＝210円

暁斎の世界を
お楽しみください

9月1日～10月25日まで
「日本の四季の美」展
暁斎プラスワンシリーズ23
古館興「葉っぱ」の世界・「木・樹」の世界展

暁斎と娘・暁翠による自然の美しさを描いた作品に加え、プラスワンシリーズでは墨だけで豊かな色彩を描く、古館氏の作品が展示されます



古館興 「こんにちは」
いつもお世話になります」

7月1日～8月25日まで
「暁斎一門の動物画
—迫真からユーモアへ—」展
第28回かえる展

真に迫る動物画とそこから展開されるユーモラスな動物戯画が楽しめるほか、カエル好きの暁斎の縁で始まったかえる展も同時開催されます



河鍋暁斎
「蛙の人力車と郵便夫」

今月25日まで
「妖怪図一奇々怪々あやしの世界—」展
暁斎プラスワンシリーズ22
野坂稔和「波の戯画」展

暁斎とその一門が描いた楽しい妖怪や恐ろしい幽霊図を御覧になれます。また、暁斎の影響を受けた現代作家によるプラスワンシリーズでは、野坂氏の戯画を中心とした作品を展示しています



野坂稔和
「波達磨図」



リポート そここが知りたい

国保加入の40歳から74歳までの皆さん 特定健診で生活習慣病の予防を！

あなたの知らぬ間に進行し、気がつくのが遅れると重症化する恐れのある生活習慣病。今月は、皆さんの健康管理をサポートしようと、市が毎年実施している特定健診についてご紹介します。お知らせ版5ページと併せて御覧ください。

発見し、その後の特定保健指導により生活の改善に取り組むものです。特定健診では、肥満の指標となるBMIや内臓脂肪量をみる腹囲計測などのほか、血液、尿検査を実施します。この結果を基に腹囲が男性は85センチ以上、女性は90センチ以上、また、BMIが25以上で高血糖、高血圧、脂質異常

指定の健診機関にて 10月末までに受診を

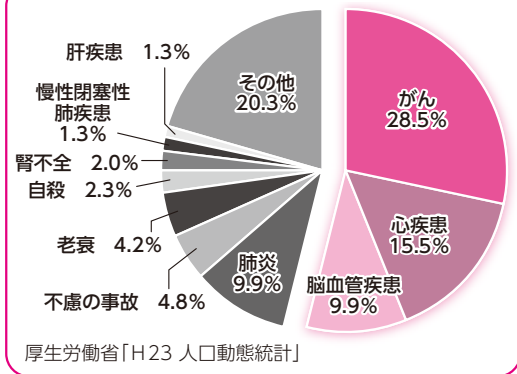
市国保の受診状況を見ると、約3割がメタボ該当者及び予備群となっています(左表)。しかしながら、対象者約1万2000人のうち、受診率は

不摂生な生活が招く 恐ろしい生活習慣病

私たちが暮らす現代社会では、生活が便利に、豊かになった一方で、生活の偏りや運動不足、喫煙、飲酒、ストレスなどによって生活習慣病にかかる人が増え続けています。このような不摂生の積み重ねは、高血糖症、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病につながり

こうした病気の発症を防ぐには、日頃の健康管理が重要です。そこで役立ていただきたいのが、市国保が実施している特定健康診査(以下特定健診)です。これは市国保に加入している40歳から74歳までの人を対象として、生活習慣病の原因となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診を行い、該当者と予備群を早期に

死因別の死亡割合



蔵市国保 特定健康診査の 受診状況	平成23年度		平成24年度	
	人数	割合	人数	割合
健診対象者	12,573	—	12,602	—
健診受診者	4,772	38.0%	4,945	39.2%
メタボ該当者	902	18.9%	961	19.4%
メタボ予備群	470	9.8%	518	10.5%

法定報告より



適度な運動は生活習慣病の予防に

4割程度となっており、未受診でも多くのメタボ該当者と予備群がいると予想されます。特定健診は、蔵・戸田市

内の指定健診機関で受診することができ、健診機関によっては、土・日曜日

も可能です。なお、対象者には今月中に受診券を発送します。受診期間は、

受診券到着から10月31日までとなっていますので、

お早めにお願います。いつまでも健康でいられるように、また、あな

たの体を気遣う家族のためにも、この機会に特定健診を受けて、自身の健康状態を把握しましょう。

問い合わせ 医療保険課 (☎ 433・7736)

※市国保以外の人の健診については、加入先の医療保険へお問い合わせください。

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎ 433・7703)へ。

(飼い主を探しています)

▼セキセイインコ 約20羽
水色と白色 4月24日に中央3丁目の民家で保護(石村・☎ 432・3004)

(仲間になりませんか)

▼ヨイガ シャンティ 木曜日 午後1時半 中央公民館
月1500円(斎藤・☎ 090・1853・3648)

児童合唱団「野うさぎ」

曜日 午後4時半 南公民館
月3500円 5歳〜高校生(近藤・☎ 441・5659)

コールこすもす(女声合唱)

木曜日 午後1時 中央公民館
月4000円(林田・☎ 431・6639)

楊名時(太極拳)

土曜日 午後2時半 蔵駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4500円(浦島・☎ 224・5915)

合気道無為会

月・木曜日 午後7時 市民体育館または第二中学校 月1000円(壺内・☎ 441・1072)

コーロ・ダーマ(女声合唱)

水曜日 午前10時 中央公民館
月5000円(町田・☎ 441・2456)

ヨイガでさわやか

月3回 日曜日 午前9時 中央公民館
月1500円(根津・☎ 443・1656)



たなか さおり
田中 パット 沙織さん

この
まちに
暮らして

ブラジル
塚越2丁目・41歳

ま・ち・の・話・題

都内の銀行に勤める田中さんはブラジル北東部のトメアス出身の日系二世です。16年前に来日し、4年後に蕨へ越してきました。現在は日本に帰化し、バキスタン人の夫、3人の子どもと暮らしています。仕事、家事、育児と、忙しい毎日を送る田中さんにとって、休日は家族とゆっくり触れ合える貴重な時間。図書館で紙芝居を楽しんだり市民公園でお弁当を食べたりと、市内で過ごすことが多いそうです。「蕨は家族で暮らすのにぴったりで、大好きです」と、幸せそうな笑顔をを見せてくれました。

春薫るまちの祭り開催



文化活動で深まる交流



土俵を沸かす真剣勝負



大盛況！支援フェスタ



活力あふれる健康講座



この数な～に
267万6,600ト

今月1日から7日までは水道週間です。そこで水道にまつわる豆知識を一つご紹介します。皆さんがふだん何気なく使っている水道水には、市内9つの井戸からくみ上げた地下水が3割以上も含まれています。その量はなんと年間267万6,600ト、東京ドーム約2杯分です。地下水は渇水や災害時の貴重な水資源であり、市では安定した供給ができるよう水質管理に努めています。こうした水道のしくみが分かるパネル展を、7日まで西公民館で開催します。ぜひお立ち寄りください。

4月29日、中山道本町通りで「苗木市・藤まつり」が開催されました。沿道でのバラやボタンなどの苗木販売、歴史民俗資料館分館でボランティア団体によるお茶のおもてなしなどが行われたほか、三学院の藤棚も公開。4万5000人は春のひとときを満喫していました。

5月9日から11日までの3日間、老人福祉センター「けやき荘」で、「けやき荘まつり」が開催されました。同施設の利用者による演技の披露や作品展のほか、舞踊や茶道の講座などが行われ、参加した延べ771人は、活動の発表を通じて、触れ合いを深めていました。

5月18日、市民体育館で、「蕨市少年相撲大会」が開催されました。昭和40年に始まり、今回が記念すべき50回目となったこの大会には、幼児から小学生までのちびっこ力士80人が出場し、土俵の上で熱戦を披露。伝統ある蕨の相撲史の1ページに、その雄姿を刻みました。

各児童館や地域のボランティアによる手作りの催し「子育て支援フェスタ」が、5月18日、福祉児童センターで開かれ、2788人が参加しました。工作や遊びコーナー、模擬店はどれも大盛況。今年は魅惑のマジックショーもあり、会場は笑顔と驚きに包まれていました。

60歳以上の皆さんのいきいきとした生活を支援している松原会館では、今年度から「はつらつ体操」を開催しています。5月20日の講座には、22人が参加。歌いながら体を動かしたり、ベルという補助具を使って体操をしたりと、終始笑顔で爽やかな汗を流しました。

- ▼ABCキッズ(幼児英会話) 月3回水曜日 午前10時 中央公民館か旭町公民館 月2300円 未就園児△小沼・ ☎090・9645・8812
- ▼ラベンダー(社交ダンス) 月3回日曜日 午後1時半 福祉・児童センター1月3000円△内田・ ☎44・8531
- ▼土曜ダンス教室 月2回土曜日 午後1時 中央公民館 月2200円 初心者歓迎 △原・ ☎44・5754
- ▼竹紫館(剣道) 月・水・金曜日 午後6時 同館 5歳以上△浅野・ ☎080・9660・1946
- ▼千の会(日本舞踊) 水曜日 午後4時 東公民館 月3000円 4歳△小学生△桑原・ ☎090・1107・8486
- ▼(参加しませんが) 埼玉の偉人 塙保己一の偉業講演会 22日 午前9時半 市民会館 3000円△平田・ ☎090・3131・9399
- ▼日帰り旅倶楽部 古都・北鎌倉散歩 7日 10000円 △岩本・ ☎090・3431・4295
- ▼ワンコイン江戸あるき 町奉行所から築地界隈へ 7日・12日・14日から選択 いずれも午前9時 蕨駅改札口集合 5000円△富山・ ☎090・2764・1342
- ▼ダンスパーティー 11日・19日・27日 午後1時 文化ホールくるる 499円△犬塚・ ☎41・7373



大田原市と



蕨市の

新たな交流の拠点となる

You Me 与一館

中央6丁目に、栃木県大田原市おおたわらのアンテナショップがオープンしたのをご存じですか。同市と蕨市は、昨年12月に、災害協定を締結したほか、市民間交流も進展しています。そこで今月は、大田原市の魅力が詰まった、同店舗の概要をご紹介します。

親と子の
ニュースの
小窓



特産品とともにご来店をお待ちしています

店舗は中央6丁目

与一くんを目印に

ワラビ あれ!?与一くんの旗が出ていますよ。

お母さん ゆるキャラグランプリでもおなじみの栃木県大田原市のマスコットキャラクターね。あそこは「You Me 与一館」ってお店みたいよ。

ワラビ 行ってみよう。スタッフ こんにちは。

ワラビ あ!与一くんグッズがたくさんあるよ。スタッフ このお店は大田原市の特産品などを売っているアンテナショップなんです。

お母さん 大田原市というと、昨年、蕨市と災害協定を結んだまちですね。スタッフ そうですね。行政どうしだけでなく、市民レベルでも交流を育

んでいるんですよ。ワラビ そういえば、僕のおじいちゃんも、近所の人たちと大田原に行っ

たって言っていたよ。スタッフ 私も現地を訪れたことがあります。山も川もきれいで、自然に囲まれた、蕨とは異なる魅力を持つまちですよ。

お母さん このアンテナショップも交流の一環で出来たということですね。スタッフ はい。運営主体のおおたわら都市農村共生・対流推進協議会に、私たち蕨なごみネットワ

ークが協力する形で、それぞれの市民が力を合わせて運営しています。お母さん このお店を中

心に、両市の交流がいつそう深まりそうですね。毎週土曜日はおいしい産直野菜を販売

ワラビ お店の中には、いろいろな商品が置いてあって楽しいね。お母さん お米やトウガラシの加工品など、蕨にはない物がいっぱいね。

スタッフ その時期の旬の物を入荷していて、毎週土曜日には、トマトやネギといった大田原産の新鮮野菜も販売しています。毎週完売になるほど

好評なんです。

ワラビ おじいちゃんが

お土産に買ってきてくれた

トマトも、甘くてとっても

おいしかったもんね。お母さん それじゃ早速、

今度の土曜日、家族みんなで買いに来ましょう。スタッフ 店内には大田

原のお祭りや催しの情報も掲示しています。気軽に遊びに来てください。ワラビ はい!

スタッフ また、現在、大田原牛など、より多くの商品を扱えるように計画中なんです。

お母さん それはとても楽しみだわ。ワラビ モー、大田原が好きななっちゃったよ。

店舗データ/営業11月/土曜日 午前11時~午後3時(土曜日は10時から)問い合わせ11月(中央614-55234・4805)

土曜日は大田原市民が直接販売に当たります

土曜日は大田原市民が直接販売に当たります

土曜日は大田原市民が直接販売に当たります

土曜日は大田原市民が直接販売に当たります

土曜日は大田原市民が直接販売に当たります

土曜日は大田原市民が直接販売に当たります

土曜日は大田原市民が直接販売に当たります

土曜日は大田原市民が直接販売に当たります

土曜日は大田原市民が直接販売に当たります

土曜日は大田原市民が直接販売に当たります



ほっと・エッセイ 70

花いっぱい運動で
まちに潤いと安らぎを

市長 頼高英雄



木々の緑が深くなるこの季節は、市内の公園や道路などには、色とりどりの花が咲き誇ります。住宅が建ち並び、人口密度日本一の蕨にとって、花や緑は、市民生活に潤いと安らぎを与えてくれます。また、花や緑があるところには、人が集い、触れ合い、地域での絆が広がります。

進めています。家庭から出た生ごみを堆肥化し、市内の障害のあるかたがたが花を育てる蕨戸衛生センター内のリサイクルフラワーセンターでは、年間、11万鉢近く育てられていますが、こうした数多くの花が、公園や道路に広がっているのです。こうした運動を広げるため、昨年からは、花いっぱい運動の表彰制度をつくり、今年も2つの団体が受賞し、先月30日に表彰式が行われました。また、今月の14日、15日には、中央2丁目のねむのき公園で「あじさいまつり」が開催されますが、これも、花いっぱい運動が発展したものです。皆さんも、ぜひ、身近なところで、花いっぱい運動に参加してみませんか。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。
今月は5日。7月は3日です。
時間は午後1時～5時を予定
しています。

ご希望のかたは秘書広報課
(☎433・7701)へ



目指せ！ホールインワン 子どもクラブ

西小学校区
放課後子ども教室

「カーン」という打球音を響かせながら、球の行方に一喜一憂する子どもたち。西小学校区放課後子ども教室では、現在、グラウンドゴルフに挑戦中です。簡単なルールで誰でも楽しめるこの競技。毎年、町会でも大会が開かれることから、「地域と触れ合うきっかけになれば」とスタッフが提案しました。「真つすぐ打てるかな」と、真剣に球筋を見極める子どもたち。まだまだ思いどおりに打てませんが、「練習して、おいしいちゃん、おばあちゃんと勝負したい」とにっこり。クラブを持つ手に自然と力が入ります。

わが家のアイドル



みお
美桜ちゃん
(1歳9か月)

はれやま
晴山
やすゆき
保幸さん
ひと
仁美さんの

長女

中央6丁目

—506—

「活発できれいな好きなきな美桜。私の掃除姿をまねているのか、よく、おもちゃをスポンジで拭いてきれいにしています。最近はキッチン器具も拭こうとしてくれ、その姿から優しさが伝わってきてうれしいですね。そんな

美桜はパパが大好き。夫の出勤時には、玄関だけでなく、窓からも『いってらっしゃい』と、飛び切りの笑顔でお見送り。これからも、挨拶や感謝の気持ちを言葉にできるすなおな子に育ってほしいです」と、母親の仁美さん。

ノンレム睡眠・レム睡眠

睡眠は体も脳も休める深い眠りのノンレム睡眠と、夢を見る浅い眠りのレム睡眠を繰り返し、90分を1サイクルとして一晩

かるた DE ヘルスケア



蕨市立病院
柴田 優子 医師

のうちに何回かこのサイクルを繰り返します。特に2サイクル目が大事で、もつとも脳の疲労を回復し、若さを保つ成長ホルモンを分泌するたいせつな時間です。少なくとも3時間は眠るようにしないと目覚めてからも疲れがとれず、成長ホルモンもじゅうぶん分泌されません。睡眠の質を高められるように照明を暗くしたり、眠る前に軽くストレッチをしたりするとよいですよ。

柴田医師の健康増進外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページでご確認を



軽やかなスティックさばきの菅谷さん

輝いています

ひと

フロアボール日本代表

すがや
菅谷 ひとみ さん

世界を駆け抜ける選手へ

ス ティックでボールを自在に操り相手ゴールを果敢に狙う、フロアボール。1チーム6人でプレーし、室内ホッケーとも呼ばれるこのスポーツの日本代表として世界を舞台に戦うのは菅谷ひとみさん(19歳・北町5丁目)です。菅谷さんがフロアボールと出合ったのは、地域のクラブに所属する母親に誘われ、練習に参加した中学3年生のときでした。シュートを決めたときの爽快感に魅了され、クラブに加入。身長150^{センチ}と小柄な菅谷さんですが、俊敏さを生かしたプレーを武器に、フォワードとしてクラブ内でめきめきと実力をつけていきました。昨年入学した大

学でも迷わずフロアボールの部活に入部。スティックの構えやパスの出し方など、基礎から見直しただけでなく、持ち味の瞬発力を磨く体づくりにも励みました。そうした積み重ねにより、豊富な運動量と鋭い切れで攻撃の軸に成長した菅谷さん。リーグ戦などでチームの勝利に貢献したほか、その実力が選考会でも認められ、12月にチェコで開催された世界フロアボール選手権の日本代表に抜擢されました。全試合に出場し、結果は16チーム中15位。世界の壁の厚さを痛感した一方、「自分の課題が分かった」と、自らを分析する機会にもなりました。そして、同月に行われた日本学生フロアボール選手権では全国優勝に貢献し、最優秀選手賞に輝くなど、大舞台で得た経験を生かし、日本一の栄冠を手に入れました。「昨年は土台を築いた1年でした。今年は世界で戦える選手を目指したい」と語る菅谷さん。今月18日〜22日には、シンガポールで開催される世界学生選手権で再び世界と対峙します。スピード感あふれるプレーで体の大きな外国人選手を翻弄し、きつと日本を勝利に導いてくれるでしょう。

紹介します！ 皆さんの市民活動

キラリ!!
みんなの力

～たいこクラブ かがやき～

メッセージ



おぎ せつこ
尾崎 節子 代表

太鼓を通して広げたい
障害者の生涯学習の輪

私たち「たいこクラブ かがやき」は、太鼓を通じた障害者の余暇活動に取り組んでいるサークルです。特別支援学校の卒業生たちからの要望により、平成9年に結成され、現在は指導者を含め、15人で活動しています。第1金曜日と第3水曜日の午後7時から、下蔵公民館で練習に取り組んでいます。練習中は楽しく太鼓をたたいてストレスを発散するだけでなく、各自が

このコラムでは、わらびネットワークステーション(☎45・7256)の市民活動登録団体を紹介しています。

太鼓と真剣に向き合っています。そのため、月2回の活動はほぼ全員が皆勤なんです。そんな会員の皆さんが、目標にしているのが生涯学習フェスティバルなど、地域の催しでの成果発表です。次の大きな舞台は、今月8日の社会福祉センター1まつり(お知らせ版8頁参照)。おそろいの衣装を着て、渾身の演技を披露します。ぜひ会場でその雄姿を御覧ください。このように、生涯学習活動を通じて触れ合いを深めています。いっしょに太鼓をたたいてみたくたやサポートをしてくださるかたは、代表・尾崎(☎442・0504)までご連絡ください。



迫力ある太鼓の音を響かせる皆さん